

行政経営

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
1	財政の将来見通しと財政方針 政策目標-行政経営	財政は今後厳しくなると考えられる。「身の丈に合った」という表現も入っているが、市民も辛抱しなければならないことを具体的に記載してもよいのではないか。	小出支所	「あれもこれも」ではなく「あれかこれか」を考えなければならない局面にきていると認識している。ただ、総合計画を読む市民や、これに基づき仕事をする職員が将来を悲観することではよくないため、書き方はバランスをとっていきたい。
2	市政運営の基本姿勢 政策目標-行政経営	自治基本条例等の枠組みはできたが、市民参加について市の対応の実態は後退しているように感じる。30、46ページの市民との関係や市民参加の記載では、現状認識をしっかりとうえて、実現可能な市民との関係を表現してほしい。	小出支所	計画を策定する段階だけではなく、計画の途中や終了した後の情報共有もしっかりしていきたい。
3	政策目標5 政策目標-行政経営	自治会加入率が下がったとあるがごみを有料化すると加入率はさらに下がる可能性もある。ごみ有料化もそういった視点で考えたほうがよい。	小出支所	個々の事業のことだけではなく、他の施策も同じ方向を向いているのかという視点にも留意して検討したい。
4	政策目標-行政経営	施設も複数あるものを減らすといった事まで考えていかなければならないのでは。	小出支所	—
5	政策目標全般 政策目標-行政経営	政策目標の並び順について、世間では子育てが重要視されているが、地域が活性化していなければ、子育ても難しいので、「子育て」と「地域活力」の順位は逆ではないか。また、「地域の活力」と「共に見守り支え合い」は、地域に住んでいる人間にとっては一緒のものである。今後地域に力を持ってもらおうという発想ならば、もう少し違った目標の設定、並び順があるのではないか。まちぢから協議会に力を発揮してもらおうとか、地域の行政センターをコミュニティセンターの中に置くなどの発想が必要なのではないか。他市の状況をみながら、将来を見据えて、当たり障りのないものではなく、実態に即した目標設定を盛り込むべき。	小出支所	どこにいても適用する計画との指摘に対しては、今後、茅ヶ崎らしきを入れる視点で整理していきたい。
6	市政運営の基本姿勢 政策目標-行政経営	まちぢから協議会と自治会を若返らせることが必要である。住民サイドで何をやるかを考え、行政と手を組んでやって行かなければならないが、行政に話をもちかけても、手が出せない、と言われる。80歳の人ばかりが集まるところに40、50歳の人が入りたがらない。早く手を打たなければ、開発等が遅れる原因がそこにもあると思う。	小出支所	どこの地域でも同様の問題を抱えていると思う。若い人に参加してもらうにはどうしたらよいか、根本的な解決策はすぐには出ないが、地道に取り組んでいきたい。
7	政策目標-行政経営	46ページの行政経営の中で、3番目として「広域行政の推進」を入れておくべきではないか。総合計画の策定は地方自治法に基づく強制力のあるものなので、他市の団体や他市の計画とのすり合わせについて何らかの表現で入れておくべきである。	小出支所	広域行政については重要なポイントであるため、46ページの取組の方向性②行政運営の基盤の確保の2つ目で、広域行政を進めるといった考えを表現している。なお、総合計画の策定についての地方自治法の義務付けはなくなったため、今回の総合計画は自治基本条例を根拠に策定している。
8	政策目標-行政経営	46ページ広域行政の推進をいれる。	小出支所	(アンケート)
9	政策目標2 政策目標3 政策目標-行政経営	働き方改革ということが言われているが、市民が早く帰宅できるようにする、職員の仕事をAI化をしていく、といった視点があってもよいのではないか。「高齢者がいきいきと輝き次世代につなげるまち」という政策があってもよいのでは。	香川公民館	働き方改革については、34～35ページにワークライフバランスの視点等から記載しており、労働環境の充実、多様な働き方の後押しなどを検討していく必要があるかと考えている。 庁内業務のAI化については、46～47ページのデジタル化の部分が該当する。RPA、ロボット技術の活用が言われているが、先進技術の進展は予想がつかない部分もある。そのため、AIという直接的な表現は避けているが、ICTを活用して職員が住民との合意形成などに注力していけるようにすべきと考えている。
10	政策目標-行政経営 総合計画全般	行政経営がしっかりしていることが一番重要だと思う。行政に協力している市民がたくさんいるが、その人たちが対等に扱われていない、情報共有もできていない、という現状がある。そういった状況を認識すべきである。また、「行政運営の基盤の確保」に記載されている、行政サービスの質の向上、職員の資質向上などの事項について具体化するにはどうしたらよいか。これまで様々な提案をしてきたが採用されず、職員に危機感がないと感じる。本当に必要な事業は何かをしっかりと考え、行政の取組をそぎ落とすといかなければならない。総合計画の策定にあたり、そういった検討をもう一度やりなおしてもらいたい。	香川公民館	行政に無償で協力している方に対して、職員は対等に対応しているつもりだとは思いますが、逆の立場で見るとそうはなっていない、というお話と感じた。様々な形でご協力いただく場面において、職員が認識を新たにしていける必要がある。 また、行政のやることについて本当に必要があるのか、必要があるとしてもその手法が一番よいのかという点について、市職員は常に考えながら仕事をしていかなければならないと考えている。 ご意見を庁内にフィードバックしていきたい。
11	政策目標2 政策目標-行政経営	働き方改革は推進するのは当然だが、そこでできた時間を有効活用するようにしたらと提案しました。	香川公民館	(アンケート)
12	政策目標5 政策目標-行政経営	ゴミの問題について、市民に大きく説明していく必要があるのではないかと思う。また、赤字が想定される施設にどういう補填をしていくのか。	鶴嶺公民館	ごみの有料化に関しては、今の茅ヶ崎市の財政事情の中では、負担していただかないとやっていけない部分があり、一定のご負担をいただくという考えのもとで、今はごみに限らず、いろいろなところで有料化になっている部分があるかと思う。 こういう財政事情の中ではその部分については一定のご理解をお願いしたい。

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
13	政策目標 -行政経営	人口から見ると20～30代の活躍できる環境が必要だと思います。	鶴嶺公民館	(アンケート)
14	政策目標 1 政策目標 -行政経営	学校の建て替え、統廃合の計画はどうなっているのか。公共ならば30年か40年で建て替えの切り替えになるが、その期限が県内でも増えている。本市は今後そのような計画はあるのか。 高齢化社会に伴い、公共の施設を利用できるような方法はないか。 縮小してくると利用価値のある場所が少なくなってくるが、計画の策定の中にどのように入っていくのか。	松林公民館	教育委員会で学校規模適正化方針の見直し作業を今やっており、小さくなった学校はどうするのかという方針を作っている最中である。 合併や統合など、いろいろな手法を全国的にやっている。 子ども達の数の推移を見ながら、学区と地域の関係などいろいろなことを考慮しながら、手法を選んでいくことになろうかと考えている。
15	政策目標 7 政策目標 -行政経営	実施計画は令和2年度中に固まると、3年の終わりぐらいということだと思うが、松林地区の喫緊の課題は、コミュニティセンターの問題だと思う。 市民集会の中で時期的なことや場所が明示され、高田市営住宅跡地で最短で令和4年度から建設すると聞いた。土地は何とかができたとしても、最短でという中で、市営住宅もこの部分にということであると、実施計画の中では莫大な建設費がかかると思う。 他の施策等にも影響すると思うが、そのような形で具体的に実施計画にあげられるということでのよいのか。	松林公民館	建設に至るまでに、最後には公費、その前に設計がある。 設計も実施設計があり、その前に基本設計がある。 また、その前には、建設検討委員会のようなものを組織して、どのぐらいの時間をかけて建設の検討をするのか、いつ頃から設計に入るのかということをご相談することがあろうかと思われる。 全体のプロセスを見て、事業費がかかる部分がどの段階で入ってくるかによると思う。 実施計画は今まではずっと3年を計画期間としていたが、今後は変わる可能性がある。
16	政策目標 -行政経営	まちづくり推進のところで、NPOやボランティアの各種の団体と連携してやるというように書かれているが、新しい若いボランティアはなかなか入ってこない。 働く世代で40代、50代ぐらいの方にボランティアに参加していただきたいが、なかなか増えないという現状がある。 今後は横ばいということを目指すのは非常に難しく、減少するのではないかと心配をしている。 維持することができるかということが問題なのではないかと感じている。	松林公民館	いろいろな団体が若い世代を欲しいのに、メンバーに加わってくる人が少ないという悩みを抱えているところはあと思う。 どんなボランティアなのか、どんなジャンルなのか、どんな活動をしているのか、いつ頃活動をしているのかということでも差があるかもしれないが、自らの活動をどんどんアピールしていただき、いろいろな人に活動を知ってもらうことが入口かと思っている。
17	政策目標 -行政経営 政策目標 2 政策目標 4 政策目標 全般	社会の形が大きく変化する中で、悲観することなく未来を創っていくことが出来たらと思います。 ①そのためには、市民主体のまちづくりが大事だと思います。それに対して、現状は活動している人が限られていると思います。市民参加を促進するイベントの実施、コミュニティ形成、市民への業務委託が増えるといいと思います。 ②ハワイ、ホノルル姉妹都市であることをもっと活用して、観光、市のブランディング、相互留学、サーフィン大会など、バリアフリービーチ、茅ヶ崎らしさ、魅力を高められるといいと思います。 ③指標として、数値も大事ですが、具体的事例を出すのはいかががでしょうか？良い取り組みをしている市民活動、行政の動きが見えるといいと思います。	体験学習センター	(アンケート)
18	政策目標 -行政経営	消化する街から生産する街へ、少しでも前進できないか？ シニア含めて市の総合力をここに向けられないか。 これは無理な望みかもしれないけれど・・・ 本日はありがとう。	小和田公民館	(アンケート)
19	行政運営 の基本姿勢 政策目標 -行政経営	テレビで行政のことが発信されるようになった。茅ヶ崎市の良いところが発信されれば良いが、良くないところが出てきてしまうと、市民としてもかっこ悪いなと思ってしまふ。防犯灯電気料金負担の訴訟のニュースが出た時は驚いた。こういうことが起こるのも、行政と市民が仲良くやっていないことが問題なのではないか。行政が市民の声をしっかり聴いていなかったのではないかなと思う。信頼関係を構築してほしい。	市役所(10月3日)	行政側からいろいろ記者発表をしている。その中には、よいものも悪いものもある。このようなことが起きないよう、行政はもちろん、市民の皆さまも双方努力をしているところだと思うが、起こってしまった悪いニュースは発信せざるを得ない。 引き続き、信頼関係の構築に努めたい。
20	総合計画 全般 政策目標 -行政経営	主要課題と政策目標は対応しているとのことだが主要課題が8、政策目標が7と数も異なり、この対応を理解するのに時間がかかった。この課題に対してこれが対策だと、市民にもわかりやすく記述してほしい。 特に知りたいのは、プライオリティである。安全・安心の確保に対する記述があまりないのが気になる。 二つ目は、超高齢化社会への対策とあるが、今後急激に税収入は減る。公共施設をどうするのか。2024年前後をとでも心配している。その状況と財政の状況の関係がわからない。それをしっかり押さえてほしい。 三つ目に、未来に拓く人材の育成とあり、総合計画の作成に外部の力を利用しているが、金額を3,000万円近くかけてやっている。こういう大事な仕事は、内容は十分でなくてもいいから、企画部の方が中心になってやるべきだと思う。この内容には足がなく、八方円満で、泥臭さが無い。結局のところ、市としてどうしたくて、市民に何をしてもらいたいのか。また、市長の演説でも、市長の方針と総合計画の関連性がわかりにくい。	市役所(10月3日)	内容がわかりにくいという話があったが、総合計画では落としてしまう分野があっけいけなため、網羅的になってしまっている。その点については、実施計画で明らかにしたい。高齢社会の中では、人口増加の時代で提供してきたサービスがすべてできるとは思わない。工夫していく必要があり、施設の建て替えにおける複合化なども考えていく必要があると考えている。 市長の方針は、総合計画が出来た際には、その体系に沿ってつくることとなり、直接的にコメントが出ていなくても、市長の方針の柱立てはそれに沿っているとと思う。
21	総合計画 全般 政策目標 5 政策目標 -行政経営	抽象的でどこが書いても同じではないか。中身が曖昧で、どうにでも解釈できる。難しい言葉が多く、イノベーションや地域の活性化という言葉があっても、それが何を意味しているのか、文章の前後を読んでも何を言っているのかわからない。持続可能なまちづくりとは、茅ヶ崎にとって何を意味するのか、何も書いていない。市民憲章は消えてしまったのか。 典型的な自然が、年々損なわれていて、ますます悪化している状況の反省が何も書かれていない。そういったことに基づいて書いたとあるが、どこに書かれているのか。 自治基本条例の市民主権の仕組みをどう作っていくのかと思う。市民参加という言葉は書かれているが、その質の評価はされていない。総合計画が形式的なものになってしまっている。本日説明があった茅ヶ崎の状況に関する資料も一緒に出して、そういったことを含めて市民が検討できるものにしてほしい。記述全体については、市民がわかるように曖昧さをなくし、定義をしっかりと、政策的に判断できるようにしていただきたい。 工場誘致などの意見もあったが、茅ヶ崎らしい、身の丈にあった内容にすべきである。安心安全、市民の健康、市民参画を大切にすることが重要。	市役所(10月3日)	定義が不明確であることや、他の自治体に持っていっても適用するのではという意見が他の会場でもあり、今後、検討していく。身の丈にあった中で重点化について指摘があったが、そうしていきたい。

番号	項目	意見内容	会場	事務局回答(当日)
22	政策目標5 政策目標 -行政経営	ごみ袋の有料化を実施した場合、転入・転出の際には元の自治体のごみ袋は使用できるのか。また、ごみ収集にコストがかかるのであれば、ごみ袋を有料化する前に、祝日・年末年始の収集をやめるべきだ。また、生ごみの収集は週に2回あるのだから、午前・午後で1回ずつにして、多様な生活パターンに対応できるようにすべきだ。また、財政の逼迫と、施設の再編は全く別の問題ではないか。財政が苦しいからといって指定管理者制度を導入するのは、市役所職員の責任放棄であり、やめるべきだ。それに伴いコストがかかるとしてもやむを得ない。また、不要な施設を増やしたり、減らしてはいけない施設をむやみに減らしているように思うが、どのように考えているのか。	ハマミナーま なびプラザ	ごみの処理には経費がかかる。できる限り少ない経費で済むようやっていたいと考えており、分別・資源化について市民の皆様にご協力頂いているところだ。収集時間については、限界がある中で、できるだけ多くの利用者にとって良い形で行うことになると思われ、時代と共に生活パターンが変わり、住民の要望が多くなれば、時間帯やペース等も変更を検討していくことになると思われる。転入出時のごみ袋については、元の自治体のは使えなくなる場合が殆どと思われるため、引っ越しの期日に合わせて使い切ってもらうようにするしかないのではないか。指定管理者制度への意見は、特に社会教育関連施設について意見は多く頂いており、施設の性格によって、望ましい運営形態等を検討していきたい。
23	政策目標 -行政経営	数年前にできたまちから協議会について、以前は自治会連合会があったものがまちから協議会に変わったが、おかしな権力意識がある方が散見される。以前も、道路の改良を地域が提案したときに、まちから協議会に話を持っていったことがあったが、まちから協議会は地域の代表のような位置づけなのか。ボランティアの担い手としてはいいと思うが、市との関係性を教えてほしい。	ハマミナーま なびプラザ	これまでは市から自治会に様々な願いをしてきたが、今は、地域で活動する幅広い方々が集うまちから協議会と協力関係をつくり進めているところである。地域により運営方法には差があると思われ、それぞれご説明はできないが、地域で活動している皆さんが連携してまちづくりを進めて頂いていると考えている。
24	政策目標3 政策目標6 政策目標 -行政経営	1. 将来を見積もることは難しいが、迫り来る危機を明確に認識して、今から、その対応、リスクマネジメントを講じることが極めて重要。 2. 特に、令和の時代に必ず起こる人口激減と災害への対応は喫緊の課題。 3. 2040年、市の職員が半減した状況で、現在の福祉サービスを維持できるか。 4. 市の行政サービスを今から標準化して、ITとAIを活用していく政策を考えるべき。 5. 今後、市の職員には高い能力が求められる。頑張ってください。	ハマミナーま なびプラザ	(アンケート)
25	政策目標 -行政経営	市役所職員さんだけで、全ての課題は難しいので、是非とも市民や市民団体の`専門`の力を生活して頂きたいと思います。※コスト低減にもつながりますので。	ハマミナーま なびプラザ	(アンケート)